

総合政策科学研究科 登録要領

総合政策科学
研究科登録要領

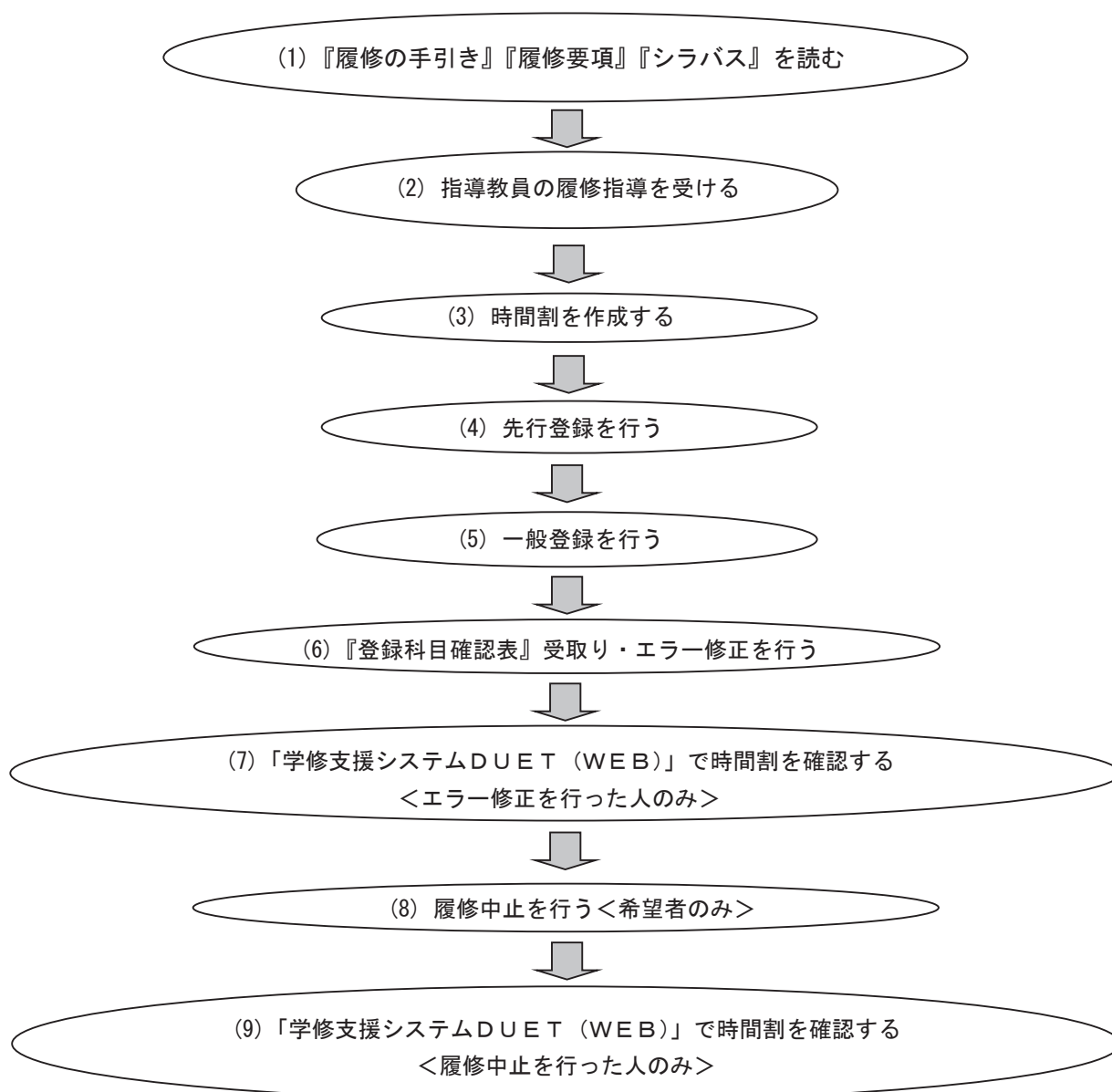
1 科目登録について

科目の登録は、1年間の履修方針を決定するとともに、次年度以降の履修や研究にも影響しますので、計画性を持って行う必要があります。また、秋学期科目についても春学期登録期間中に、春学期科目とともに登録しなくてはなりません。

科目登録においては、本冊子『履修の手引き』や、『履修要項』、『シラバス（大学ホームページ上に掲載）』、『総合政策科学研究科時間割表』、『掲示板』などをよく見て、誤りのないよう注意してください。

1年間に登録できる単位数は、年次によって上限が設けられており、これを超えて登録することはできません（『履修要項』参照）。

▶▶▶ 登録完了までの流れ ◀◀◀



※それぞれの詳細は、次頁以降を参照すること。

(1) 『履修の手引き』『履修要項』『シラバス』を読む

- ①科目によって、履修条件が設定されていたり、同一科目でも学年によって科目コードが異なったりするので『履修要項』で確認してください。
- ②科目・クラスごとの授業内容については『シラバス』を参照してください。
- ③登録方法、登録日程は本冊子『履修の手引き』または『履修要項』で確認してください。
- ④教員免許の取得を考える者は『免許・資格関係 履修要項』などを確認し、不明な点があれば、免許資格課程センター事務室免許資格係窓口へ相談し、指導を受けてください。

(2) 指導教員の履修指導を受ける

新入生は、入学志願書類に記載した志望教員に連絡をとり、今後の研究および履修計画について登録期間に間に合うように早めに履修指導を受けてください。連絡先は別冊『政策学部・総合政策科学研究科ハンドブック』のオフィス・アワーを参照してください。事前に本冊子『履修の手引き』や『履修要項』、『シラバス』などを熟読したうえで履修指導を受け、登録科目を決定してください。2年次生以上の方は、適宜、指導教員の履修指導を受けてください。

(3) 時間割を作成する

時間割作成にあたっては、主に次の点に注意してください。

- ①同じ曜日講時に科目が重複しないように注意してください。
※集中講義などで、15回のうち1回だけ重なっている、というような場合も登録できません。
- ②登録制限単位数の上限を超えないよう注意してください。
- ③すでに履修し、単位を修得した科目は登録できません。

(4) 先行登録を行う

- ①先行登録とは、一般登録に先立って行う登録のことです。定員が設定されている科目や、一定の学力が要求されるために、抽選や選考を行う必要がある科目が対象です。
- ②該当科目の設置学部・研究科によって登録日時や登録方法が異なります。本冊子『履修の手引き』や『履修要項』、『掲示板』などで確認してください。学修支援システム DUET (WEB) による先行登録の利用方法は『WEB 先行登録システム利用上の注意』や、『DUET マニュアル』を参照してください。
- ③先行登録で履修が認められた科目・クラスは、一般登録期間に再度登録する必要はありません。
- ④いったん登録した先行登録科目は、秋学期に開講される科目も含めて、履修中止期間以外での履修中止や科目・クラス変更を認めないので、よく考えて登録してください（秋学期科目は削除日有り）。
- ⑤決定したクラス・担当者・曜日講時を必ず記録しておいてください。初回授業時の教室を探す時や教科書購入の際に必要となる事があります。

(5) 一般登録を行う

一般登録とは、先行登録科目以外の科目について「学修支援システム DUET (WEB)」を利用して次の日程に行う登録のことです。操作方法は、『WEB による履修科目登録利用上の注意』や『DUET マニュアル』を参照してください。

一般登録日程 (WEB)
4月5日(水) 10:00~4月6日(木) 17:00
※春学期に一般登録した秋学期開講科目は、基本的に秋学期登録変更期間に変更できます。

(6) 『登録科目確認表』受け取り・登録エラー修正を行う

- ① 『登録科目確認表』を4月12日(水) 9:30~学修支援システム DUET よりダウンロードしてください。
- ② 登録科目確認表をダウンロードし、次の項目をチェックしてください。
 - ・先行登録科目、大学が一括登録した科目、一般登録科目等がすべて正しく記載されているか?
 - ・時間割重複、履修年次誤り等の登録エラーがないか?
- ③ 登録エラーがある場合は、下記の期間に修正してください。

登録エラー修正期間	時間	方法
4月12日(水)~4月14日(金)	~4月14日(金) 17:00	総合政策科学研究科事務室にて手続きを行うこと(※最終日締切日時に注意)または、大学付与メールアドレスから、修正内容を総合政策科学研究科事務室(ji-osei@mail.doshisha.ac.jp)にEメールで連絡すること

- ・登録エラーが生じた場合に限り、エラー修正を認めます。**登録科目の変更は一切認めません。**
- ・登録エラーがある場合、定められた登録エラー修正期間に修正せず放置しておく、登録エラーに関する科目はすべて**強制削除**されます。各自が責任をもって、登録エラーがないか、登録科目が正しく記載されているか、よく確認してください。
- ・時間割重複等、一部の登録エラーにより登録削除を行った場合、削除した単位数分のみ追加登録を認めます。

(7) 学修支援システム DUET で時間割を確認する<エラー修正を行った人のみ>

4月19日(水)~20日(木)の履修科目確認期間に学修支援システム DUET にて時間割が修正されているか確認してください。修正されていない場合は、この期間中に総合政策科学研究科事務室に申し出てください。

(8) 履修中止を行う<希望者のみ>

授業開始後1か月程度授業を受講し、望ましい評価が得られないと判断した科目については、定められた範囲の科目について、以下の期間中に履修を中止することができます。操作方法は、『WEBによる登録科目履修中止利用上の注意』や『DUET マニュアル』を参照してください。

履修中止期間
5月15日(月)、5月16日(火)(予定)(別途大学HPにて案内します)

※隔週講義科目については上記の手続きで行ってください。

※集中講義科目については、各講義15回のうち、**授業開始から5回目の講義が始まるまでに**総合政策科学研究科事務室にて履修中止申請を行ってください(上記日程とは異なりますのでご注意ください)。

- ①履修中止できる科目は原則として春学期科目に限ります。秋学期科目については、秋学期履修中止期間に必要な応じて履修中止してください。
- ②上記の期間内に履修中止を行った単位数分は、秋学期登録変更期間に登録制限単位数の範囲内で登録することができます（春学期科目を追加登録することはできません）。

★前期課程の2年次生以上の場合、履修中止によって修了に必要な単位数を満たさなくなると、修了見込証明書が発行できなくなるので注意してください。

- (9) 学修支援システム DUET で時間割を確認する<履修中止を行った人のみ>
DUET にて時間割が修正されているか確認してください。

2 秋学期登録スケジュールについて

秋学期科目についても、年間の履修計画を立てて春学期に登録しておいてください。

ただし、1年次秋学期科目『研究演習Ⅰ』については、7月中に履修を希望するクラスの担当教員に指導を希望する旨伝え、了承を得たうえで、**秋学期の科目登録変更期間に登録**してください。

また、登録科目の変更など、下記の予定で秋学期にも登録変更の機会があります。下記スケジュールはあくまでも予定です。

春学期成績通知書交付 秋学期登録書類交付	9月8日（金）
秋学期先行登録	9月8日（金）～20日（水） ※科目によって異なるためHPなど参照すること
秋学期一般科目登録変更受付	9月21日（木）～22日（金）
秋学期講義開始	9月25日（月）

以降、春学期と同様にエラー修正や履修中止があります。

3 学修支援システム DUET（WEB）による科目登録について

先行登録、一般登録に関わらず、科目の登録は基本的に「学修支援システム DUET（WEB）」を利用して行います。詳細は『WEB 先行登録システム利用上の注意』や『WEB による履修科目登録利用上の注意』『DUET マニュアル』を参照してください。ただし、一部の科目については、WEB 登録を行わないものもあります（事前申請が必要な実習科目やキャップ・ストーン科目など）。本冊子『履修の手引き』や『掲示板』をよく確認してください。

また、DUET を利用するにはユーザ ID とパスワードが必要です。パスワードを忘れた場合、学生証を持参し IT サポートオフィス（今出川キャンパス：良心館地下 1 F、烏丸キャンパス：志高館地下 1 F）にてパスワードの再設定手続きを行ってください。

▶学修支援システム DUET について

DUET（学修支援システム）による各種申請手続き（科目登録、先行登録、履修中止など）は、万全の体制を整えて準備していますが、予測不能なシステム障害等が発生し、WEBによる手続きが行えなくなる可能性もあります。申請手続き期間中に、大学側のシステムに重大なトラブルが発生し、手続きが正常に行えなかった場合には、受付時間の延長や教室での受付に変更（システムの復旧に時間を要する場合）することもありますので、予めご注意ください。なお、これらの臨時的対応については、DUETのお知らせにてご案内しますが、DUETが障害により稼働していない場合については、『在学生のページ』の重要なお知らせにて案内します。

4 登録にあたってのその他全般的な注意

(1) 学生証の携帯

学生証は常に携帯してください。学生証を忘れた場合には、登録エラー修正やレポートの提出などの手続きができません。

(2) カリキュラムの確認

課程や入学年度によってカリキュラムが異なります。『履修要項』で自身のカリキュラムをよく確認し、カリキュラムごとに定められた科目を履修してください。異なるカリキュラムの科目は履修することができませんので注意してください。

(3) 開講校地の確認

他校地（特に京田辺校地）の科目を受講希望する場合は、移動時間等を考慮して時間割を組んでください。登録において、連続した講時の2校地間移動（今出川⇄京田辺）を伴う履修登録はできませんので、注意してください。

※ネット配信授業の場合も同様です。

(4) 授業時間割の重複禁止

同一曜日講時に複数の科目を登録することはできません。

※集中講義などで、15回のうち1回だけ重なっている、というような場合も登録できません。

※ネット配信授業の場合も同様です。

(5) 履修条件の確認

履修条件を無視した登録はできません。特に他研究科科目を履修する場合は、当該研究科の『履修要項』などで履修条件を確認するようにしてください。

(6) 先行登録科目の一般登録禁止

先行登録科目（大学が一括して登録するものも含む）は、一般登録することができません。

(7) 登録最高単位数の確認

最高登録単位数（年間・学期別）が定められているので『履修要項』で確認してください。

(8) 免許資格関係科目の登録について

免許資格関係科目の登録・履修については、『免許・資格関係履修要項』を参照してください。また、学修支援システム DUET による科目登録とともに、免許資格課程センター事務室免許資格係で、課程登録等の手続きを完了してください。

(9) 修了見込証明書の発行について

前期課程の2年次生以上の学生が修了見込証明書の発行を希望する場合、「これまでに修得した単位数」と「新たに登録する科目の単位数」（いずれも、修了単位数に加算されるもののみ）の合計が、

少なくとも修了必要単位数以上であること、および在学年数が2年以上となる見込みであること(休学期間除く)が発行の条件となります。とりわけ前者については、定められた登録期間以外の科目登録は認められないので注意してください。

なお、春学期に休学する際も、春学期登録期間中に秋学期科目を登録することが可能です。就職活動などにより休学中に修了見込証明書の発行が必要な場合は、必ず春学期登録期間中に秋学期科目の科目登録を行ってください。

5 入学前修得単位の認定について

本学大学院学則第6条の4にもとづいて、下記の単位を総合政策科学研究科において修得したものと認定することができます。これは新入生にしか適用されません。

- ・入学前に、他大学大学院もしくは本学の他の研究科で修得した単位
- ・入学前に、総合政策科学研究科で科目等履修生として修得した単位
- ・学部生の時に、学部科目『政策特殊講義』を自由科目として登録し、修得した単位

	日時	場所
申請受付	4月2日(日)、3日(月) 事務室開室時間中	総合政策科学研究科事務室
結果通知	4月4日(火) 中に通知	

- (1) 総合政策科学研究科事務室に申し出て、『単位認定申請票』(所定用紙)を受け取ってください。
- (2) 単位を修得した科目の「成績証明書(単位修得証明書)」「シラバス(コピー可)」を『単位認定申請票』とあわせて提出してください。
- (3) 結果は、4月4日(火)中に、総合政策科学研究科事務室より、大学付与メールアドレスへ通知します。

<注意事項>

- ・登録する科目と認定予定科目が重ならないように注意してください。
- ・「成績証明書」・「シラバス」がどうしても申請手続までに揃わない場合は、その旨を申し出てください。『単位認定申請票』により仮認定を行いません。なお、4月8日(土)までに成績証明書等の書類が未提出の場合は仮認定を取り消すことがあります。

6 標準修業年限を越えて在学される場合の学費について

本学大学院学則別表Iにもとづいて、以下の要件を満たす者は、次の学期から授業料及び教育充実費を半額とします。

- (1) 博士課程(前期課程)において2年以上在学している者
博士課程(後期課程)、一貫制博士課程(転入学)において3年以上在学している者
一貫制博士課程において5年以上在学している者
※「休学」期間は「在学」期間に含みません。
- (2) 所定の単位を修得した者
- (3) 学部又は大学院の授業科目を履修していない者
※講義を受講後、履修中止により全ての履修を取り止めた場合でも、遡及して減免は適用はされません。
- (4) 長期履修学生ではない者

7 自身が所属する課程、専攻以外の科目登録（追加、削除）について

自身が所属する課程、専攻以外の科目は学修支援システム（DUET）を利用しての登録手続きができません。指導教員との相談等によりこれらの科目の登録を希望する場合は、総合政策科学研究科事務室窓口での登録手続きが必要です。

上記の登録手続きを希望する場合は、登録期間最終日の前日までに総合政策科学研究科事務室に手続きについて問い合わせてください。

例) 博士課程（前期・後期課程）の学生が学部科目の登録を希望する場合

8 登録の際に注意が必要な総合政策科学研究科の主な設置科目

・ここから記載する科目は、総合政策科学研究科設置科目の中でも重要であり、かつ履修登録の際に注意が必要な科目です。『履修の手引き』をよく確認のうえ、必要な手続きを行ってください。

博士課程（前期課程）は p.61～ p.66参照。

博士課程（後期課程）は p.67～ p.69参照。

一貫制博士課程（課程前半）は p.70参照。

一貫制博士課程（課程後半）は p.71参照。

◇総合政策科学入門の登録について◇

一般登録科目

■履修について

総合政策科学入門は必修科目（図書館情報学コースを除く）です。

2023年度生および過年度生で単位未修得の方は、2クラス開講されますので、必ずどちらかを受講してください（登録はご自身でWEB登録してください）。

科目名	クラス	講義日
総合政策科学入門	001	火6
	002	土2

◇演習科目の登録について◇

一般登録科目

<2012年度以降生>

■履修について

演習科目「研究演習Ⅰ」「研究演習Ⅱ」「研究演習Ⅲ」は必修科目です。必ず指導教員の担当する研究演習を履修し、指導を受けてください。

また、研究演習は決められた学期に履修しなければなりません。必ずⅠ・Ⅱ・Ⅲの順に履修してください。

演習導入科目「演習入門」は、選択科目ですが、1年次秋学期から始まる「研究演習Ⅰ」に備えて、各専攻分野の研究に必要な導入的な理論・方法論等を習得するプレ演習として位置づけられる科目のため、積極的に履修するようにしてください。この科目は、2クラス（4単位）まで登録が認められていますが、修了必要単位に算入できるのは1クラス（2単位）までとなっていますので、注意してください。

また、第2演習科目である「研究第2演習」は、選択科目で、いわゆるサブゼミとして位置づけられている科目です。「研究演習Ⅰ」と同時に指導教員以外のクラスを1クラス（2単位）に限り履修することが可能です（修了必要単位数に算入）。

ただし、「研究第2演習」については、受講が修士論文作成等の研究を進めていくために不可欠であることを、指導教員及び担当教員と十分に相談したうえで登録するようにしてください。

■演習履修の流れ

下記の通り、研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの順に、決められた学期に履修してください。

1年次		2年次	
春学期	秋学期	春学期	秋学期
(演習入門)	研究演習Ⅰ (研究第2演習)	研究演習Ⅱ	研究演習Ⅲ

原則として研究演習Ⅰから研究演習Ⅲに至るまでの3科目は、同一教員のクラスに所属します。

ただし、研究テーマの変更等、やむを得ない場合に限り「研究演習Ⅰ」から「研究演習Ⅱ」に進む際に「研究演習Ⅱ」の指導教員の承諾によって変更を認めることがあります。

<不合格、休学の場合の履修>

【例1】研究演習Ⅰが不合格となった場合は、次に研究演習Ⅰが開講されるセメスターから開始する。研究演習Ⅱ、Ⅲも同様。

1年次		2年次		3年次	
1セメ	2セメ	3セメ	4セメ	5セメ	6セメ
	研究演習Ⅰ(F)	研究演習Ⅱ	研究演習Ⅲ		
			研究演習Ⅰ	研究演習Ⅱ	研究演習Ⅲ

【例2】研究演習Ⅰの開講セメスターに休学した場合は、次に研究演習Ⅰが開講されるセメスターから開始する。研究演習Ⅱ、Ⅲの場合も同様。

1年次		2年次		3年次	
1セメ	2セメ	3セメ	4セメ	5セメ	6セメ
	研究演習Ⅰ(休学)	研究演習Ⅱ	研究演習Ⅲ		
			研究演習Ⅰ	研究演習Ⅱ	研究演習Ⅲ

総合政策科学
研究科登録要領

■登録スケジュール

《2012年度生～2022年度生》

一般登録期間に登録してください。

《2023年度生》

秋学期から始まる「研究演習Ⅰ」については、7月に履修を希望するクラスの担当教員に指導を希望する旨伝え、了承を得たうえで、秋学期の科目登録変更期間に一般登録してください。

また、「研究第2演習」の履修を希望する場合についても、7月に「研究演習Ⅰ」の履修を希望するクラスの担当教員および「研究第2演習」の担当教員に相談し、了承を得たうえで、秋学期の科目登録変更期間に一般登録してください。

■注意点

- ・「研究演習Ⅰ」および「研究第2演習」は、上記のとおり7月に担当教員に希望を伝え、許可された場合のみ履修できます。したがって、秋学期の科目登録変更期間に一般登録してください。
(春学期の科目登録期間に登録してもエラーとはしませんが上記の趣旨を理解したうえで登録手続を行ってください。)
- ・春学期の段階では指導教員は入試出願時に希望された教員を(仮)指導教員としています。秋学期の「研究演習Ⅰ」が始まるまでに指導教員を変更する場合は「研究指導教員変更申請票」を総合政策科学研究科事務室に提出してください。(締切は7月3日(月)まで)
- ・研究演習は決められた学期に履修しなければなりません。**必ずⅠ・Ⅱ・Ⅲの順に履修してください。**
- ・休学等を考えている場合は、指導教員または事務室に演習の履修時期について事前に確認してください。

◇論文・課題研究の登録について◇

一般登録科目

■登録について

指導教員の指示により、「論文」または「課題研究」のいずれかを選択し、論文を提出する年度の春学期に必ず登録してください。論文や課題研究を提出するにあたっては、登録だけでなく、提出する学期の所定の期日までに「論文題目届」もしくは「課題研究題目届」を提出する等、必要な手続きを行ってください。

上記の「論文」から「課題研究」、または「課題研究」から「論文」への変更は、春学期に提出する場合は春学期の履修科目登録期間、秋学期に提出する場合は秋学期の履修科目登録変更期間にのみ認められます。

■登録スケジュール

春学期の一般登録期間に登録してください。秋学期には登録できません。

※春学期に休学の場合も、春学期に登録してください。

■登録方法

「学修支援システム DUET (WEB)」を利用して登録してください。

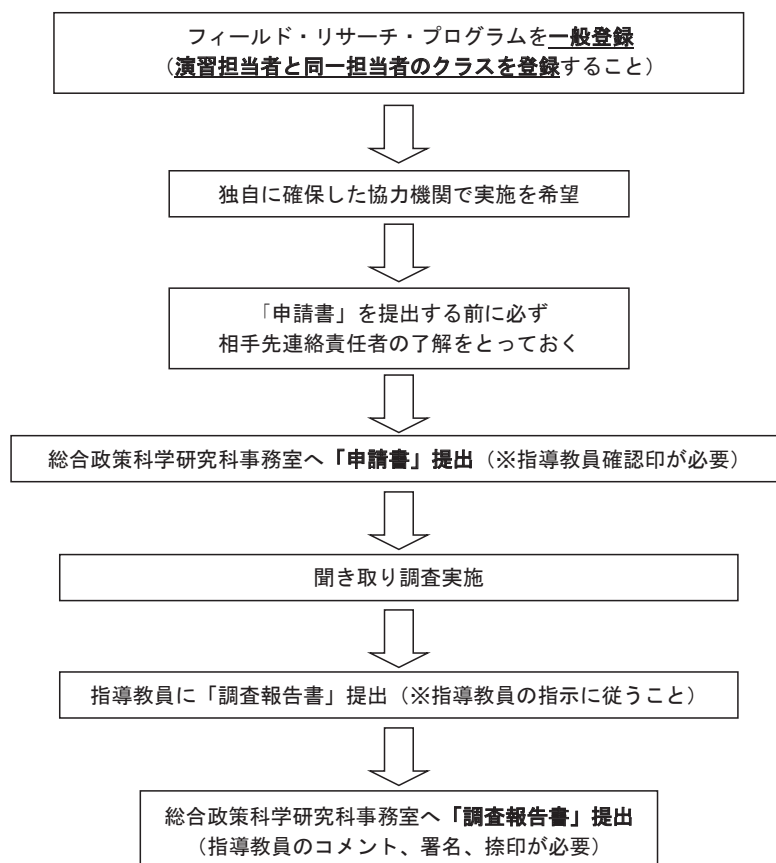
◇フィールド・リサーチ・プログラムの登録について◇

一般登録科目

■履修について

フィールド・リサーチ・プログラム（FRP）の実施希望者は、所定の「申請書」「報告書」等の書類を総合政策科学研究科事務室で受け取り、研究指導教員の指導を受けた上で、下記の要領で手続きをしてください。

■登録の流れ

総合政策科学
研究科登録要領

■手続き日程

申請書提出締切日：2023年9月29日（金）

報告書提出締切日：2024年1月12日（金）

■注意点

- ・研究指導教員が担当するクラスを登録してください。未登録の場合は単位の認定はできません。
- ・複数機関への調査希望者は、機関ごとに「申請書」「調査報告書」の提出が必要です。
- ・期限までに申請書が提出されなかった場合は、履修中止とみなし、履修中止処理を行います。また、期限までに調査報告書が提出されなかった場合は、単位の認定はできません。
- ・調査の実施にあたっては、申請書提出締切日までに、必ず相手先の了解を取っておくようにしてください。
- ・申請書および報告書は総合政策科学研究科HPからダウンロードしてください。

◆関西四大学大学院単位互換科目◆

先行登録科目

■履修について

関西四大学大学院単位互換科目として、出願・選考の上、関西学院大学大学院・関西大学大学院・立命館大学大学院の科目を受講することができます。詳細は、各大学のHPで公開される履修要項、シラバスにより確認してください。なお、時間割については総合政策科学研究科事務室で閲覧可能です。

■登録スケジュール

(1) 申請書等の提出

受講希望の方は、「関西四大学大学院単位互換履修生願書」「写真2枚（3cm×2.4cm 1枚は願書に貼付）（上半身、正面脱帽）」を以下の期日までに総合政策科学研究科事務室に提出してください（申請書は事務室で配布しています）。

春学期日程	4月6日（木）17：00（春秋、春、秋学期科目の出願手続）
秋学期日程	9月15日（金）17：00（秋学期科目の出願手続）

(2) 合否発表

希望大学院から受講可否の連絡があり次第、大学が付与したメールアドレスにお知らせします。

(3) 登録

受講許可の連絡をした方については、総合政策科学研究科事務室で登録処理を行います。そのため、当該科目については、ご自身で登録手続きをしていただく必要はありません。

■注意点

- ・単位互換科目は、容易に取り消したり履修中止したりできませんので、履修にあたってはキャンパスの移動時間等を含めてしっかりと計画を立ててください。
- ・所定用紙は総合政策科学研究科事務室で配布しますが、指導教員の所見記入・承認印が必要ですので、事前に用紙を受け取り、各自指導教員に依頼しておいてください。

◇科目登録上の注意点について◇

一般登録科目

■注意点

共通科目、展開科目A群、展開科目B群で、前期課程で履修済みの科目については、再履修することができません。未履修の科目を選択してください。

◇特殊研究の登録について◇

一般登録科目

■登録について

指導教員の担当する「特殊研究」を登録してください。

■登録スケジュール

春学期の一般登録期間に通年分（春学期、秋学期）登録してください。

※春学期に休学をする方は秋学期分を、秋学期に休学をする方は春学期分のみ登録してください。

■登録方法

「学修支援システム DUET（WEB）」を利用して登録してください。

※研究テーマ届について

- ・毎年、春学期の一般登録期間には「特殊研究」の登録の他に、「研究テーマ届」の提出が必要です。春学期の講義第二週目初日までに提出してください。なお、春学期休学者は秋学期の講義第二週目初日までに提出してください。
- ・「研究テーマ届」は、総合政策科学研究科HPからダウンロードしてください。

博士課程教育リーディングプログラム

一般登録科目

◇「グローバル・リソース・マネジメント」(GRM) プログラム◇

<2013年度以降生対象>

■博士課程教育リーディングプログラム「グローバル・リソース・マネジメント」について

博士課程教育リーディングプログラムとは、文部科学省が推進する、世界的に質の高い大学院教育を提供するための事業です。平成24年度、本学から採択されたグローバル・リソースマネジメント・プログラムは、「グローバル・リソース・マネジメント」という文理融合の視点で、今日、最も困難な状況にある国から新興国までを対象に、強靱な精神と高度な倫理観を持って活躍していくグローバル・リーダーの養成を目指すものです。

博士課程教育リーディングプログラム「グローバル・リソース・マネジメント」(プログラム略称：GRM) の履修については、博士課程教育リーディングプログラム「グローバル・リソース・マネジメント」履修要項を熟読してください。

■履修について

詳細は、『グローバル・リソース・マネジメント履修要項(2023年度版)』を参照してください。なお、上記履修要項は、総合政策科学研究科事務室にて配布しています。

■ GRM プログラムについての問合せ先

グローバル・スタディーズ研究科事務室(烏丸キャンパス志高館1階)

TEL : 075-251-3930

E-mail : ji-gs@mail.doshisha.ac.jp

HP : <http://global-studies.doshisha.ac.jp>

◇「共同演習」（「ワークショップ演習」）の登録について◇

一般登録科目

<2015年度以降生>

■履修について

指導教員が科目代表者を務める「共同演習」（「ワークショップ演習」）を2年次秋学期に必ず履修してください。

■登録について

「共同演習」（「ワークショップ演習」）の【000クラス】を登録してください。登録後、審査体制が確定し次第、総合政策科学研究科事務室にて各指導教員のクラスへ振り分けを行います。

■登録スケジュール

2年次春学期の一般登録期間に登録してください。

※春学期に休学の場合も、春学期に登録してください。

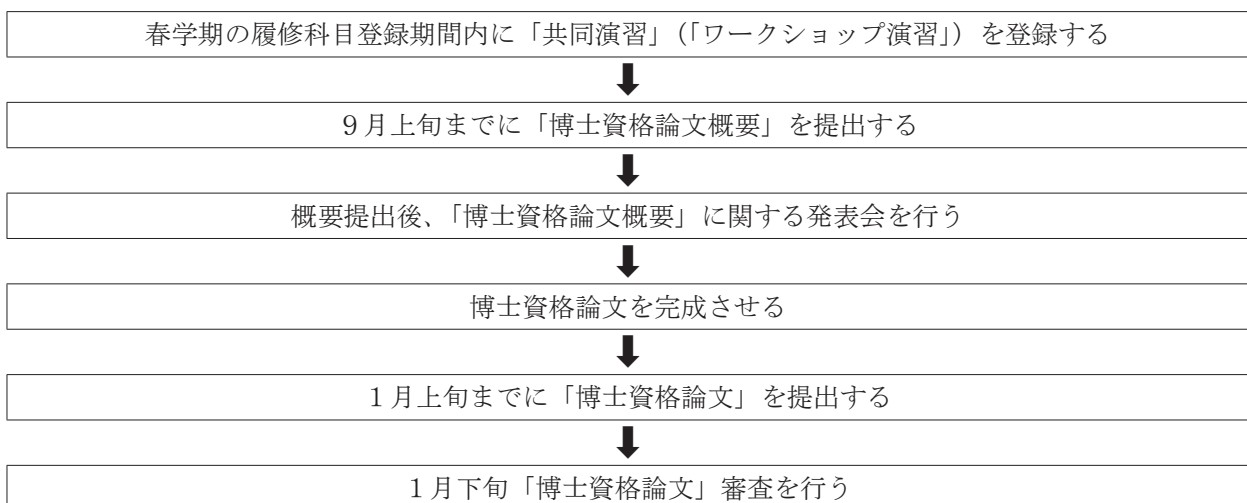
■登録方法

「学修支援システム DUET（WEB）」を利用して登録してください。

■注意点

- ・「共同演習」（「ワークショップ演習」）の登録をしなかった学生は「博士資格論文概要」の提出資格はなしとします。
- ・科目登録はしたものの、「博士資格論文概要」を提出しなかった学生については秋学期の共同演習（「ワークショップ演習」）の登録を取り消します。

※※履修の流れについて※※



※詳細は総合政策科学研究科HPを参照のこと

◇中間評価論文の登録について◇

一般登録科目

■登録について

提出する年度の春学期に必ず「中間評価論文」を登録してください。

※中間評価論文を提出するにあたっては、上記登録だけでなく、提出する学期の所定の期日までに「中間評価論文題目届」を提出する等、必要な手続きを行ってください。

■登録スケジュール

春学期の一般登録期間に登録してください。秋学期には登録できません。

※春学期に休学の場合も、春学期に登録してください。

■登録方法

「学修支援システム DUET (WEB)」を利用して登録してください。

◇特殊研究の登録について◇

一般登録科目

■登録について

指導教員の担当する「特殊研究」および「特殊研究S（合同演習）」を登録してください。

■登録スケジュール

春学期の一般登録期間に通年分（春学期、秋学期）登録してください。

※春学期に休学をする方は秋学期分を、秋学期に休学をする方は春学期分のみ登録してください。

■登録方法

「学修支援システム DUET（WEB）」を利用して登録してください。

※研究テーマ届について

- ・毎年、春学期の一般登録期間には「特殊研究」の登録の他に、「研究テーマ届」の提出が必要です。春学期の講義第二週目初日までに提出してください。なお、春学期休学者は秋学期の講義第二週目初日までに提出してください。
- ・「研究テーマ届」は、総合政策科学研究科HPからダウンロードしてください。

総合政策科学
研究科登録要領

◇論文の登録について◇

一般登録科目

<2012年度以降生>

■登録について

博士論文を提出する年度の春学期に必ず「論文」を登録してください。

※論文を提出するにあたっては、上記登録だけでなく、「論文題目届」を提出する等、必要な手続きを行ってください。「論文題目届」の提出は、論文を提出する年度の春学期の講義第二週目初日までです。詳細は総合政策科学研究科HPで確認してください。

■登録スケジュール

春学期の一般登録期間に登録してください。秋学期には登録できません。

※春学期に休学の場合も、春学期に登録してください。

■登録方法

「学修支援システム DUET（WEB）」を利用して登録してください。

9 履修証明プログラムについて

(1) 地域公共マネジメント

※本プログラムは2025年3月末日をもって終了の予定です。なお、本プログラムは地域公共人材開発機構の政策士プログラムとして、2024年度末まで社会的認証を受けていますが、2023年度の本プログラムについて、内容変更についての審査を受ける見込みです。従いまして、認証の結果次第では本プログラムを受講した結果、必ず政策士プログラムとして認定されるかは未定であることを予めご承知おきください。

「地域公共マネジメント」履修証明プログラムは、地域の公共的課題を具体的に解決するための政策の企画立案や実施、公共的活動のコーディネートを適切に運用・実践する能力の育成を図ることを内容としたカリキュラムを提供するもので、プログラムを修了した者には、修了の事実を証明する「履修証明書」を交付します。

なお、この申請は年度ごとに必要となりますので注意してください。

①出願資格 同志社大学大学院生（正規学生）

②出願先 総合政策科学研究科事務室（志高館1階 TEL 075-251-3860）

③プログラム修了要件

1) 120時間以上の履修が必要。

2) 「地域公共マネジメント」履修証明プログラム開講科目一覧から選択し、6科目に合格すること。

④キャップ・ストーン科目について

キャップ・ストーンを履修登録できる者は、履修証明プログラムを受講して履修証明を取得済みである者、または、その年度内に取得見込みである者。ただし、地域公共政策士の資格取得を目的としない者で、授業担当者の許可を得た場合には、履修証明プログラムの受講の有無にかかわらず、前期課程または後期課程もしくは一貫制博士課程の最終年次での登録を認める。

（履修証明プログラムとは地域公共人材開発機構が認定したプログラムのことを指す。）

履修を希望する場合は「総合政策科学研究科 キャップ・ストーン受講申請要項」を確認の上、申請を行うこと。

⑤提出書類

1) 履修証明プログラム受講申請書

2) 写真1枚（縁なし・光沢仕上げのカラー写真、正面・上半身・脱帽、3か月以内撮影のもの、タテ3cm×ヨコ2.4cm、裏面に鉛筆で氏名を記入の上申請書に貼付のこと）

※ただし前年度に申請済みの方は写真の提出は不要とする。

⑥出願方法

1) 出願日時

出願は年1回春学期のみとします。

日 時：2023年4月5日（水）、6日（木）9：00～11：30、12：30～17：00

なお、秋学期は受講科目の追加のみ受け付ける。

追加科目のある場合は、受講科目追加届けを提出すること。

日 時：2023年9月8日（金）、11日（月）、12日（火）9：00～11：30、12：30～17：00

***提出書類にて出願の上、WEB登録も必ず行うこと。**

(注) 本プログラムは、2010年度から開講のプログラムのため、2010年度以降取得の科目のみ有効とする。本プログラム受講申請前に取得した2010年度以降の単位については履修証明の取得要件としてカウントできる場合があるので、希望する場合は総合政策科学研究科事務室へ問い合わせること。

2023年度「地域公共マネジメント」履修証明プログラム 開講科目一覧

科目種類	科目名	開講学期・単位数	担当者名
基本科目	地方自治論研究	春・2単位	野田 遊
基本科目	行政組織論研究【行政管理論研究】	春・2単位	入江 容子
基本科目	政策評価論研究	春・2単位	山谷 清志
基本科目	立法政策過程論研究	春・2単位	武藏 勝宏
基本科目	現代社会起業研究	春・2単位	大和田 順子
基本科目	公共性研究	春・2単位	金川 幸司
基本科目	地域福祉論研究	秋・2単位	森 詩恵
基本科目	ESG 経営研究【企業倫理・社会的責任研究】	秋・2単位	松岡 秀紀
基本科目	事業承継研究 【事業承継研究－ファイナンス研究－】	秋・2単位	桑木 小恵子
アクティブラーニング	【地域力再生実践論研究】	本年度休講	
アクティブラーニング	インターンシップ －持続可能な地域社会をデザインする－ 【地域インターンシップ －持続可能な地域社会をデザインする(1)－】	春・2単位	谷口 知弘
アクティブラーニング	【地域インターンシップ －持続可能な地域社会をデザインする(2)－】	本年度休講	
アクティブラーニング	【地域インターンシップ －ユニバーサルデザインの現場を知る(2)－】	本年度休講	
共通科目	総合政策科学入門	春・2単位	三上 真嗣

総合政策科学
研究科登録要領

- (注) ・地域インターンシップは2科目までを履修証明の取得要件にカウントできる。
- ・「地域公共マネジメント」プログラムおよび「食農政策士」プログラムに共通する科目の単位を取得した場合も、履修証明の取得要件にカウントできるのはどちらか1プログラムのみとする。但し、「共通科目」である「総合政策科学入門」に限り、単位を修得した場合は両プログラムの取得要件にカウントできる。
 - ・【 】内の科目名は旧カリ（2022年度以前）生の科目名を記載している。

(2) 食農政策士

※本プログラムは2025年3月末日をもって終了します。なお、現在、地域公共人材開発機構の政策士プログラムとして、2024年度末まで社会的認証を受けていますが、2023年度の本プログラムについて、内容変更についての審査を受ける見込みです。従いまして、認証の結果次第では本プログラムを受講した結果、必ず政策士プログラムとして認定されるかは未定であることを予めご承知おきください。

「食農政策士」履修証明プログラムは、わが国の食農分野における公共政策のイノベーションやこの分野の社会的課題解決に貢献するソーシャル・ビジネス等を担う有為の人材を育成することを内容としたカリキュラムを提供するもので、プログラムを修了した者には、修了の事実を証明する「履修証明書」を交付します。

なお、この申請は年度ごとに必要となりますので注意してください。

①出願資格 同志社大学大学院生（正規学生）

②出願先 総合政策科学研究科事務室（志高館1階 TEL 075-251-3860）

③プログラム修了要件

1) 120時間以上の履修が必要。

2) 「食農政策士」履修証明プログラム開講科目一覧から選択履修し、6科目に合格すること。

④キャップ・ストーン科目について

キャップ・ストーンを履修登録できる者は、履修証明プログラムを受講して履修証明を取得済みである者、または、その年度内に取得見込みである者。ただし、地域公共政策士の資格取得を目的としない者で、授業担当者の許可を得た場合には、履修証明プログラムの受講の有無にかかわらず、前期課程または後期課程もしくは一貫制博士課程の最終年次での登録を認める。

（履修証明プログラムとは地域公共人材開発機構が認定したプログラムのことを指す。）

履修を希望する場合は「総合政策科学研究科 キャップ・ストーン受講申請要項」を確認の上、申請を行うこと。

⑤提出書類

1) 履修証明プログラム受講申請書

2) 写真1枚（緑なし・光沢仕上げのカラー写真、正面・上半身・脱帽、3か月以内撮影のもの、タテ3cm×ヨコ2.4cm、裏面に鉛筆で氏名を記入の上申請書に貼付のこと）

※ただし前年度に申請済みの方は写真の提出は不要とする。

⑥出願方法

1) 出願日時

出願は年1回春学期のみとします。

日 時：2023年4月5日（水）、6日（木）9：00～11：30、12：30～17：00

なお、秋学期は受講科目の追加のみ受け付ける。

追加科目のある場合は、受講科目追加届けを提出すること。

日 時：2023年9月8日（金）、11日（月）、12日（火）9：00～11：30、12：30～17：00

***提出書類にて出願の上、WEB登録も必ず行うこと。**

(注) 本プログラムは、2010年度から開講のプログラムのため、2010年度以降取得の科目のみ有効とする。本プログラム受講申請前に取得した2010年度以降の単位については履修証明の取得要件としてカウントできる場合があるので、希望する場合は総合政策科学研究科事務室へ問い合わせること。

2023年度「食農政策士」履修証明プログラム 開講科目一覧

科目種類	科目名	開講学期・単位数	担当者名
基本科目	食科学・食育論研究	秋・2単位	西村和代
基本科目	現代社会起業研究	春・2単位	大和田順子
基本科目	公共性研究	春・2単位	金川幸司
アクティブラーニング	現代有機農業研究Ⅰ	春・2単位	渡辺雄人
アクティブラーニング	現代有機農業研究Ⅱ	秋・2単位	渡辺雄人
アクティブラーニング	【自立・自給型生活研究—スロークローズ論—】	秋・2単位	大石尚子
共通科目	総合政策科学入門	春・2単位	三上真嗣

(注) ・「地域公共マネジメント」プログラムおよび「食農政策士」プログラムに共通する科目の単位を取得した場合も、履修証明の取得要件にカウントできるのはどちらか1プログラムのみとする。但し、「共通科目」である「総合政策科学入門」に限り、単位を修得した場合は両プログラムの取得要件にカウントできる。

- ・現代有機農業研究Ⅰ・Ⅱはセット登録が条件となる。「現代有機農業研究Ⅰ」のみ、または「現代有機農業研究Ⅱ」のみの履修はできないため注意すること。履修中止を希望する場合は春学期に秋学期の科目とあわせて本研究科事務室にて履修中止申請をすること。
- ・【 】内の科目名は旧カリ（2022年度以前）生の科目名を記載している。

(3) 消費者政策専門人材

「消費者政策専門人材」履修証明プログラムは、超高齢化やグローバル化が進展する中で、ネット社会やサステナビリティへの取り組みが一層求められるなど複雑化、多様化した消費者政策を推進するための専門的能力の育成を図ることを内容としたカリキュラムを提供するもので、プログラムを修了した者には、修了の事実を証明する「履修証明書」を交付します。

なお、この申請は年度ごとに必要となりますので、注意してください。

①出願資格 同志社大学大学院生（正規学生）

②出願先 総合政策科学研究科事務室（志高館1階 TEL 075-251-3860）

③プログラム修了要件

1) 60時間以上の履修が必要。

2) 「消費者政策専門人材」履修証明プログラム開講科目一覧から選択履修し、3科目に合格すること。

④提出書類

1) 履修証明プログラム受講申請書

2) 写真1枚（縁なし・光沢仕上げのカラー写真、正面・上半身・脱帽、3か月以内撮影のもの、タテ3cm×ヨコ2.4cm、裏面に鉛筆で氏名を記入の上、申請書に貼付のこと）

※ただし、前年度に申請済みの場合は提出は不要。

⑤出願方法

1) 出願日時

出願は年1回春学期のみとします。

日 時：2023年4月5日（水）、6日（木）9：00～11：30、12：30～17：00

なお、秋学期は受講科目の追加のみ受け付ける。

追加科目のある場合は、受講科目追加届けを提出すること。

日 時：2023年9月8日（金）、11日（月）、12日（火）9：00～11：30、12：30～17：00

※提出書類にて出願の上、WEB登録も必ず行うこと。

2023年度「消費者政策専門人材」履修証明プログラム開講科目一覧

科目名	開講学期・単位数	担当者名
消費者政策研究	春・2単位	武 藏 勝 宏
消費者法研究	秋・2単位	中 田 邦 博
金融経済教育	秋・2単位	足 立 光 生
ソーシャル・マーケティング研究	春・2単位	多 田 実
消費者行動論研究	秋・2単位	永 野 光 朗
インターンシップ —消費者政策のフィールドでの活動— 【地域インターンシップ —消費者政策のフィールドでの活動—】	春・2単位	武 藏 勝 宏
【地域インターンシップ —消費者政策のフィールドでの実践—】	本年度休講	

(注) ・地域インターンシップは1科目までを履修証明の取得要件にカウントできる。

・【 】内の科目名は旧カリ（2022年度以前）生の科目名を記載している。

マスター消費生活アドバイザーの資格取得について（一般財団法人日本産業協会 HP より抜粋）

○制度の趣旨

2019年9月、（一財）日本産業協会は、消費生活アドバイザーを対象に「指定大学院」において所定のコースを修了した場合に取得できる資格として「マスター消費生活アドバイザー」を創設しました。

本資格制度は、2019年4月の消費者庁「消費者政策推進のための専門人材の育成・確保に関する懇談会報告書」の趣旨に沿ったものです。更なる学びを求める消費生活アドバイザーは多数存在しており、本資格制度は、消費者政策や消費者志向経営を本格的に学ぶ契機となるだけでなく、消費者庁による就労支援も提言されていることから、消費生活アドバイザーが、行政及び企業において、活躍の場を更に広げるチャンスとなるものと期待されます。

○マスター消費生活アドバイザーについての詳細は以下 URL より確認してください。

<http://www.nissankyo.or.jp/adviser/qualified/master.html>

○同志社大学大学院総合政策科学研究科の「消費者政策専門人材大学院教育プログラム」は、この「マスター消費生活アドバイザー」の指定大学院として指定されています。詳細については、総合政策科学研究科事務室にお尋ねください。

10 キャップ・ストーンについて

同志社大学では、「地域公共政策士」資格取得のための必須科目である『キャップ・ストーン』を大学院の正規科目として開講します。

キャップ・ストーンでは、フィールドワーク、デスクワーク（調査研究等）、成果の発表（調査結果、政策提言等の現場でのプレゼンテーション）の三つを行うことが要求され、成績評価は最終的な成果物（報告書、プレゼン等）の内容だけでなく、フィールドワーク、デスクワークなどでのプロセスを総合的に評価します。できるだけグループワークを基本としていますが、グループワークが難しい社会人の場合には、職場での活動歴などを考慮する場合があります。

(1) 出願資格【①及び②を満たしている者】

①同志社大学大学院生（正規学生）

②履修証明プログラムを受講して履修証明を取得済みである者、または、その年度内に取得見込みである者。ただし、地域公共政策士の資格取得を目的としない者で、授業担当者の許可を得た場合には、履修証明プログラムの受講の有無にかかわらず、前期課程または後期課程もしくは一貫制博士課程の最終年次での登録を認める。

(2) 出願先

総合政策科学研究科事務室（志高館1階 TEL 075-251-3860）

(3) 提出書類

①キャップ・ストーン受講申請書（本学所定のもの）

②履修証明書の原本（2種類）[原本は確認後に返却する]

取得見込みの方は成績証明書等、取得見込みであることがわかる書類

(4) 出願方法

①出願日時

出願は年1回春学期のみとする。

日 時：2023年4月5日（水）、6日（木）9：00～11：30、12：30～17：00

* WEB登録は、提出書類を確認の上、総合政策科学研究科事務室が行う。

(5) その他

受講申請者は年1回春学期のみ募集する。

2023年度「キャップ・ストーン」開講科目一覧

科目名	開講学期・単位数	担当者名
キャップ・ストーンⅠ —地域政策実践研究プログラム(1)—	春・2単位	武 藏 勝 宏
キャップ・ストーンⅡ —地域政策実践研究プログラム(2)—	秋・2単位	武 藏 勝 宏
キャップ・ストーンⅠ —自治体の実践的課題の探索と提言(1)—	春・2単位	野 田 遊
キャップ・ストーンⅡ —自治体の実践的課題の探索と提言(2)—	秋・2単位	野 田 遊

*キャップ・ストーンⅠ、Ⅱはそれぞれセット登録が条件となる。

原則、春学期科目のみ、または秋学期科目のみの履修はできないため注意すること。履修中止を希望する場合は春学期に秋学期の科目とあわせて総合政策科学研究科事務室にて履修中止申請をすること。

*キャップ・ストーンⅠ、Ⅱを履修し、取得した4単位は共通プログラム（キャップ・ストーン）の8ポイントとして認定される。

※時間割は日程が変更となる場合もあるので、必ず総合政策科学研究科時間割表およびHPを確認すること。

11 政策系専門プログラムについて

〈概要〉

総合政策科学研究科では、2023年度から始まる新カリキュラムにおいて、政治・行政系、法律系、経済系、組織・経営系の4つの分野領域を横断する3つの政策系専門プログラムを開設し、政策研究コース、ソーシャル・イノベーションコースの博士課程（前期課程）の在學生（2023年度以降生）が自由選択で履修することができます。各プログラムの修了要件を満たした場合は、修了申請をすることで研究科長による「履修証」を交付します。

各プログラムの概要は以下の通りです。

①自治行政ガバナンスプログラム

財政難、少子高齢化、危機管理対応、SDGs、デジタル化など、地域の環境はここ数年で大きく変化しており、政策による本格対応はこれからが正念場を迎えます。団塊ジュニアの高齢化も迫りつつあり、問題の本質を見極める科学的な政策形成能力が求められています。こうした環境変化に対応するためには、政策科学の知見と応用に基ついた政策立案者の能力育成が不可欠です。本プログラムは、欧米の公共政策系大学院で必須の政策科学の科目群を基礎に、Evidence-based Policy Making (EBPM) と政策法務の両面から科学的にアプローチする能力と政策提案力を修得し、地域の問題解決を具体的に図る人材の育成を図ります。

②サステナビリティ共創プログラム－SDGs とジェンダー

近年、政策決定過程やあらゆるレベルの政策とシステムをジェンダー平等にするための政策理念としてジェンダー主流化が定着してきました。SDGs のどの目標を達成する上でも、ジェンダーの視点を主流化していくことは不可欠であると考えられています。そのため、今日、あらゆる現場で、ジェンダー平等やダイバーシティを土台とした提言ができる人材がより一層求められています。こうしたニーズに対応すべく、本プログラムでは、国内外の団体や機関とのネットワークを駆使し、日本のみならず海外におけるジェンダーの視点を取り入れた実践的かつ多様な教育機会を提供し、SDGs 人材の養成を行います。

③グローバル政策学プログラム

グローバル化が進む現在、世界的にヒト・モノ・カネ・情報が国境を越え、地球規模で相互依存関係が深化しています。また一国レベルでも、グローバルなレベルでも格差や分断が表出し、ポピュリズムの台頭や民主主義の危機、深刻化する地域紛争やテロリズム、貧困や開発をめぐる問題、さらには金融危機や地球環境問題への対応など、国際社会は様々な政策的課題に直面しています。こうした国際社会が直面している多層的・複合的な問題群の解決を目指し、本プログラムでは、政策学と国際関係学の学際的なアプローチに基づいて、グローバルな政策的課題へ取り組もうとする人材の育成を図ります。

〈各種手続き〉

1. 申請対象者

同志社大学大学院総合政策科学研究科博士課程（前期課程）に所属する2023年度以降生で、修了要件を満たしたものの

2. プログラム修了要件（複数プログラムの申請可）

各プログラムの所定の科目から5科目10単位以上を取得すること
科目の詳細は下記項目5. から確認すること

3. 申請受付期間

学年暦を基準として、「各学期の成績通知日～講義開始日まで」

※修了予定の学期に申請する学生は、修了通知書が届いた後、総合政策科学研究科事務室へ相談すること

4. 申請方法

修了申請書（研究科様式あり）を作成のうえ、総合政策科学研究科事務室へ提出すること

※申請書は総合政策科学研究科事務室にて配布

5. 各プログラムにおける修了に必要な科目一覧

〈自治行政ガバナンスプログラム〉

（政策科学科目群）		5科目10単位履修
政策過程論研究	3科目選択	
政策形成論研究		
政策評価論研究		
公共選択論研究		
政策実施論研究		
行政組織論研究		
地方自治論研究		
生活保障論研究		
（政策法務科目群）		
立法政策過程論研究	1科目選択	
憲法解釈研究		
現代行政法研究		
（EBPM科目群）		
公共財政管理論研究	1科目選択	
政策分析研究		
地域分析論研究		

〈サステナビリティ共創プログラム—SDGsとジェンダー〉

(必修科目)		5科目10単位履修
SDGs 概論	2科目必修	
政策研究プロジェクト —SDGsとジェンダー		
(選択科目)		
雇用政策論研究	3科目選択	
現代社会の労働・雇用		
起業論		
金融経済教育		
国際開発論研究		
グローバル経済論研究		
現代行政法研究		
スポーツ法政策研究		

〈グローバル政策学プログラム〉

(グローバル政治系科目群)		5科目10単位履修
比較政治学研究	1 or 2科目選択	
国際政治学研究		
国際社会論研究		
(グローバル・イシュー系科目群)		
国際援助政策論研究	2科目必修	
外交政策論研究		
国際地域統合論研究		
エリア・スタディーズ研究		
グローバル・ガバナンス論研究		
国際法研究		
(グローバル経済系科目群)		
グローバル経済論研究	1 or 2科目選択	
国際開発論研究		
国際開発金融論研究		

〈MEMO〉